

楽しい活動から社会貢献活動へ!

●私の会員スピーチ・その3

9月2日の春日部地区浦高会で行った会員スピーチ「同窓会にどっぷり浸かって17年」の続きです。



4. やるからにはみんなが楽しい活動を

◆春日部地区浦高会の転機は石井(中48回)会長から三輪(15回)会長へ

春日部地区浦高会の大きな転機は、創立から5年目を迎える2005年度9月総会前のことでした。石井会長から三輪新会長に引き継がれ、幹事会で三輪新会長からこんなお話が出ました。

「これまでの春日部地区浦高会は、会員相互の親睦を図ることが主体でしたが、事務局長も香田さんになって若返るわけだから、新しい取り組みを思う存分に企画してほしい。私も全面的に協力しますし、幹事の皆さんにも積極的に協力してほしい」と、私が事務局長を指名されるとともに、新しい目標まで与えられてしまいました。

平成30年度 春日部地区浦高会 講話資料

4. やるからにはみんなが楽しい活動を

◆親睦を深めた4年間

◇総会と賀詞交歓会、ゴルフコンパ

春日部地区浦高会が創立されてからの最初の4年間は、年1回9月に行われる総会、2月に行われる賀詞交歓会、それと年2回のゴルフコンパと定期的な行事を開催するという、**会員相互の親睦を図るための活動**でした。

◇事務局会議

ただ、当時の三輪事務局長を中心とした事務局会議は2か月に1度くらいのペースで開かれており、三輪会長の事務所まで打合せを行ってからの近頃の居酒屋で飲むということも度々でした。ここでは、本部の常任理事を務めていた鳥井副会長がさまざまな情報を提供してくださり、同窓会の動きや他地域同窓会の活動などに触れることが出来ました。

◆春日部地区浦高会の転機は石井(中48回)会長から三輪(15回)会長へ

春日部地区同窓会も2001年の創立から5年目を迎える2005年度9月総会を前にして、石井会長から「私も暮寿を迎えるから会長を降りて、後進に譲りたい」という話があり、新会長は全員が認めるところで三輪事務局長に引き継がれました。

そんな新役員を決める総会前の幹事会で三輪新会長からこんなお話が出ました。「これまでの春日部地区浦高会は、**会員相互の親睦を図ることが主体でやってきました。ただ、年2回の総会と賀詞交歓会だけでは、お互いが親睦を興いて楽しむところまでは行っていない。ぜひ、事務局長も香田さんになって若返るわけだから、新しい取り組みを思う存分に企画してほしい。私も全面的に協力しますし、幹事の皆さんにも積極的に協力してほしい**」と、私が事務局長を指名されるとともに、新しい目標まで与えられてしまいました。

◆春日部に浦高同窓会あり

この頃の春日部地区浦高会は、まだ地域で認識されるまでは行っていませんでしたが、積極的に同窓会の役職が入った名刺を作ったりしながら、さまざまな場面で「春日部に浦高会あり」と言えるようになりつつありました。

◆一泊旅行

会長が交代して最初に企画したのが、1泊旅行でした。それまでは、総会は午後4時半に始まり、30分の議事審議、約1時間の会員スピーチ、約2時間の懇親会という流れで、だいたい座った場所近くの方々との話しだけでできなかったのですが、お風呂に入ってゆっくりと懇親を深め、2次会でカラオケを歌い、部屋でまた親睦を深めようという企画で、2006年2月に賀詞交歓会も兼ねて鬼怒川温泉での1泊旅行を企画しました。翌日、ゴルフに行く人たちのことを考えてゴルフコンパも用意しましたが、栃木県内のゴルフ場も皆模様でゴルフコンパは中止になってしまいました。それでも、参加して下さった20名の皆さんからは、「楽しかった」「皆さんのカラオケが聞けて良かった」と大好評でした。

◆春日部に浦高同窓会あり

この頃の春日部地区浦高会は、まだ地域で認識されるまでは行っていませんでしたが、積極的に同窓会の役職が入った名刺を作ったりしながら、さまざまな場面で「春日部に浦高会あり」と言えるようになりつつありました。

◆一泊旅行

会長が交代して最初に企画したのが、鬼怒川温泉への1泊旅行でした。総会、懇親会、そして2次会でカラオケと大いに胸襟を開いていただきました。

平成30年度 春日部地区浦高会 講話資料

◆バス旅行

その後、「一泊は難しくても、日帰りであれば出席したい」という会員からの申し出もあり、バス旅行を企画しました。最初は、地元を知ろうということで2007年5月に「初夏の春日部・野田名所めぐり」を開催し17名の参加をいただき、春日部市内の「首都圏外郭放水路」、野田市内の旧榎の13世名人「蘭屋金次郎記念館」、終戦時内閣総理大臣だった「鈴木貫太郎記念館」、「県立蘭園城博物館」なども回る事ができました。



2009年10月に「坂東の旅」(羽生の藍染め、出流山慶徳寺と麓妻、栃木の蔵造りを楽しむ)、2010年5月には三輪会長の友人がクルーザーの運転免許を持っていらっしゃるということで、「東京リパークルーズ」も隔年で3回開催しました。



隣接する久喜蘭和会の10周年記念総会にお招きいただいたのがきっかけになり、久喜蘭和会の皆さんにお声掛けをして、合同での旅を企画しました。第1回目は2013年4月に「川越の桜と歴史・文化を楽しむ!」、2014年3月に「桃の花咲く古河を味わう」、2015年4月に「浦高百年の森と鉢形城の旅」、2016年4月に「醤油のまち・野田/春の探索旅」、2017年4月に「久喜の春を楽しむ会」、2018年5月に「このとりの里・野田を訪ねる旅」と6回続いています。最近の3回はバスを使わず、駅に集合して歩く範囲を楽しむというようなコースを考えています。この小旅行のポイント、川越の旅では西部浦高会の西澤会長にお世話になり、見学コースや宴会会場を決めていただいています。次の古河市でも古河蘭和会の長尾会長、連絡事務局長などにお呼びしました。そして、昼食時の宴会で親睦を図ってまいりました。「浦高百年の森への旅」は、会員の多くが「一泊行ってみたいが、作業はどうも」という人が多かったため、旅の時期に開催しました。



〔13年川越の旅、ヤオコー美術館〕



〔14年古河の旅、総合公園の桜〕



〔15年浦高百年の森〕



〔16年野田の旅、キョウマン〕



〔17年久喜の旅、寄中の旧家〕



〔18年野田の旅、コノノトリ〕

◆バス旅行

その後、「一泊は難しくても、日帰りであれば出席したい」という会員からの申し出もあり、バス旅行を企画しました。

2007年5月の「初夏の春日部・野田名所めぐり」

2009年10月の「坂東の旅」

2010年5月以降3回の「東京リパークルーズ」

<久喜蘭和会との合同企画>

2013年4月の「川越の桜と歴史・文化を楽しむ!」

2014年3月の「桃の花咲く古河を味わう」

2015年4月の「浦高百年の森と鉢形城の旅」

2016年4月の「醤油のまち・野田/春の探索旅」

2017年4月の「久喜の春を楽しむ会」

2018年5月の「このとりの里・野田を訪ねる旅」

◆家族同伴の総会

2007年9月の総会では、家族同伴の機会としてオーボエ奏者の渡辺克也さんを招いての演奏会を楽しんでいただきました。

◆お茶会も体験してもらって

私のお茶と賀詞交換会を重ねて、2007年は「抹茶を自分で点ててみよう」、2008年は「茶席体験」。

◆ 家族同伴の総会

普段は男だけの会議で花がないこと、お父さんがいつか迷惑を掛けていること、罪滅ぼしにということで、家族同伴の企画を練ろうということになり、総会にゲストをお招きして演劇会を開催しようということになりました。そこで、世界で活躍されているオーボエ奏者の渡辺克也さんをお招いての演劇会を楽しんだこともあります。2007年9月の総会でした。



◆ お茶会も体験してもらって

私が茶の道を学んでいることから、2007年賀詞交歓会では「抹茶を自分で煮てみよう」、2008年賀詞交歓会では「茶席体験」などもいただきました。



◆ 母校浦高の今も体験

2015年10月には創立120周年を迎えた母校でリニューアルなった鑑和会館資料展示室などの浦高施設と、浦高生たちの授業の様子を見学する「浦高公開授業と浦高施設見学ツアー」を開催することになりました。



※ ここで春日部地区浦高会の17年間の歩みを簡単に振り返ってみたいと思います。

2001年9月～2018年6月まで

春日部地区浦高会の17年間の歩み

【2018年6月9日 湘南浦高会・講話資料】

【設立】春日部地区浦高会は、春日部市(旧庄和町)、野田市、越谷市、幸手市、宮代町、杉戸町周辺に在住、出身、勤務されている同窓生を対象として2001(平成13)年9月に設立されました。

【① 会員の親睦を重視して活動した時代】

2001年度 9月:設立総会(石井治氏を会長選出、写真41名)
02年2月:賀詞交歓会(28名)



02年度 9月:総会(キッコーマンの知り醤油館見学38名)
2月:賀詞交歓会(30名)、4月:第1回ゴルフコンペ(15名)

03年度 9月:総会(38名)、2月:賀詞交歓会(30名)、11月・5月:ゴルフコンペ(13名)

04年度 9月:総会(31名)、2月:賀詞交歓会(28名)、11月・5月:ゴルフコンペ(12名)

05年度 9月:総会(石井治会長から三輪昭彦・新会長へバトンタッチ31名)、2月:賀詞交歓会「鬼怒川一泊旅行」(20名)、10月・4月:ゴルフコンペ(13名)

◆ 母校浦高の今も体験

2015年10月にはリニューアルした麗和会館資料展示室などの浦高施設と、浦高生たちの授業を見学する「浦高公開授業と浦高施設見学ツアー」。

【② 積極的な活動を開始した時代】

06年度 9月:総会(32名)、2月:賀詞交歓会(31名)、5月:初夏の春日部・野田名所めぐり(18名)、10・4月ゴルフコンペ



07年度 9月:総会「渡辺克也氏からオーボエ演奏」(34名)、2月:新春茶会・賀詞交歓会(25名)、3月:百年の森参加、ゴルフコンペ



08年度 8月:総会「川野会長スズ子」(32名)、2月:賀詞交歓会(31名)、6月:枝豆宴會、3回:百年の森参加、ゴルフコンペ



【③ 地域貢献活動に取り組みはじめた時代】
【10周年「春日部麗しの杜づくり」】

09年度 9月:総会(32名)、10月:坂東の旅(8名)、2月:賀詞交歓会(33名)、5月:東京リバークルーズ(5名)、ゴルフコンペ



【久喜鑑和会との合同企画小旅行が始まる】

10年度 9月:総会・小笠原会長記念講演(35名)、10月:麗しの杜植樹祭(54名)、1月:麗しの杜野鳥観察会(7名)、2月:賀詞交歓会(27名)、ゴルフコンペ



11年度 9月:総会(32名)、2月:野鳥観察会(16名)、賀詞交歓会(34名)、4月:東京リバークルーズ(6名)、5月:みんなで森をつくる集い(30名)、ゴルフコンペ



【15周年「音楽の都ウィーンからの贈り物」】

12年度 9月:総会(40名)、11月:麗しの杜植樹、2月:賀詞交歓会(28名)、4月:久喜との合同企画「川越の春を味わう!」(34名)、百年の森参加、ゴルフコンペ



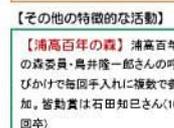
13年度 9月:総会(40名)、10月:東京リバークルーズ(6名)、2月:賀詞交歓会(28名)、3月:久喜との合同企画「桃の花咲く古河を味わう!」(34名)、森、ゴルフコンペ



14年度 9月:総会(37名)、10月:チヤココンサート(60名)、2月:賀詞交歓会(28名)、4月:浦高百年の森と鮮彩城(21名)、6月:ウィーンからの贈り物コンサート(220名)、ゴルフコンペ

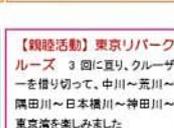


15年度 9月:総会(31名)、10月:浦高公開授業と浦高施設見学(15名)、10月:出張講座4校(920名)、2月:賀詞交歓会(27名)、4月:「醤油のまち・野田」の敷居旅(23名)、ゴルフコンペ



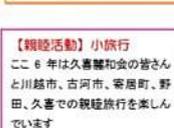
【浦高百年の森】浦高百年の森委員・島井隆一郎さんの呼びかけで毎回手入れに複数で参加。皆勤賞は石田知巳さん(16回中)

16年度 9月:総会(30名)、10月:ウィーンからの贈り物コンサート(463名)、10月:出張講座3校、2月:賀詞交歓会(29名)、4月:「久喜の春を楽しむ旅」(35名)、ゴルフコンペ



【その他の特徴的な活動】

17年度 9月:総会(31名)、10月:ウィーンからの贈り物コンサート(471名)、10月:出張講座3校、2月:賀詞交歓会(34名)、5月:「このとりの島・野田の森」(20名)、ゴルフコンペ



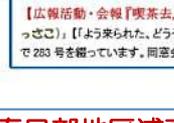
【その他の特徴的な活動】

【周年記念事業は地域貢献】

【10周年記念事業】

【春日部麗しの杜づくり】

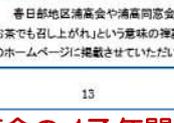
創立10周年記念事業として、2010年10月から市内公園の一部に75本の中木を植栽し、手入れや野鳥観察会を行っています



【15周年記念事業】

【音楽の都ウィーンからの贈り物】

創立15周年記念事業として、2015年6月からウィーン在住の富田千穂さん(19回)をお招きして、「音楽の都ウィーンからの贈り物」コンサートと中学校や高校への出張講座も実施してきました



【広報活動・会報「喫茶去」】

春日部地区浦高会や浦高同窓会の情報などを届けた会報「喫茶去(さきさき)」。【よう来られた、どうぞお茶でも召し上がり、】という意味の俚語も、創立記念の創刊号から17年間で283号を綴っています。同窓会のホームページに掲載させていただきます。

【広報活動・会報「喫茶去」】

春日部地区浦高会や浦高同窓会の情報などを届けた会報「喫茶去(さきさき)」。【よう来られた、どうぞお茶でも召し上がり、】という意味の俚語も、創立記念の創刊号から17年間で283号を綴っています。同窓会のホームページに掲載させていただきます。

◆ 春日部地区浦高会の17年間の歩み

この17年間の歩みを11ページの後半から13ページに掲載していますが、親睦を深めた4年間、5年目から9年目までは積極的に会員の親睦を重視するとともに事業展開をはじめています。10年目からは地域貢献活動に取り組みはじめた時代ということができると思います。



5. あっという間の17年、今日も浦高さん?

◆ 創立10周年記念事業 ⇒ 環境づくり

浦高百年の森に対して、鎮守の杜を

そして転機がまた訪れます。10年度目を迎えるに当たって、三輪会長から出された大きな課題です。「春日部地区浦高会も、会員相互の親睦も随分と深まったと思います。全体同窓会でも110周年記念事業の『浦高百年の森』事業をスタートして社会貢献をはじめたように、そろそろ春日部地区も創立10周年を迎えるので、社会貢献活動に取り組んでみたいと思うのです。何か企画を立ててもらいたい。ただ、会員が喜んで参加できるような事業であることと、会計が困らない程度のことと考えてほしい」と私にとって「三兎を追え」の課題が出されました。

そこで、埼玉県補助金を活用して「全体同窓会が環境をテーマとして荒川の源流の山を守り育てようというコンセプトなのだから、県東部に位置する春日部の古利根川沿いで植栽を通じて環境保全に努めようというのは大義がある」ということで社会貢献活動としての「春日部麗しの杜事業」を提案し、皆様のご理解を得て実施しました。 <つづく>